

* バイオバンク試料調製手順 * [血清]

1. 準備

(製品名・機種型番等は、バイオバンクが採用しているものを提示している。)

- 採血管 (6ml 血清分離用 (テルモ) 血清分離剤 + 凝固促進フィルム 6ml)
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube 0.7ml #JRDS-2S)
2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680)
2024年4月23日以降 1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)
- 遠心機 KUBOTA S500FR (2024年1月31日まではコクサン H-60R S/N:144045を使用)
回転数 3660RPM(2500G) 10min (2024年3月31日までは3,000RPM 10min)

2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、室温静置。凝固を確認後速やかに遠心。

(保存時間は個別検体情報に別途記載)

2-2. 3660RPM(2500G), 4℃, 10min遠心。

(2024年3月31日までは15℃で3000 rpm、10分間遠心)

3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500 μ L分注。

1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)

4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。

* バイオバンク試料調製手順 * [血漿]

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- 採血管 7ml EDTA-2Na(テルモ)
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube0.7ml #JRDS-2S)
2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680)
2024年4月23日以降 1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)
- 遠心機 KUBOTA S500FR (2024 年 1 月 31 日まではコクサン H-60R S/N:144045 を使用)
回転数 3660RPM(2500G) 10min (2024 年 3 月 31 日までは 3,000RPM 10min)

2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、速やかに遠心。

2-2. 3660RPM(2500G) , 4℃, 10min遠心。

(2024年3月31日までは15℃で3000 rpm、10分間遠心)

3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500 μ L分注。

1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)

4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。

* バイオバンク試料調製手順 * [DNA] 用～ Buffy Coat回収：未抽出

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- 採血管 7ml EDTA-2Na(テルモ)
- 0.7mL ジャケットチューブ (Lab Stuff 96Jacket Tube0.7ml #JRDS-2S)
2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL # BC30680)
2024年4月23日以降 1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)
- 遠心機 KUBOTA S500FR (2024 年 1 月 31 日まではコクサン H-60R S/N:144045 を使用)
回転数 3660RPM(2500G) 10min (2024 年 3 月 31 日までは 3,000RPM 10min)

2. 採血と分離

2-1. 準備した採血管に採血した後、速やかに遠心。

2-2. 3660RPM(2500G) , 4℃, 10min遠心。

(2024年3月31日までは15℃で3000 rpm、10分間遠心)

2-3. 血漿回収後、中層（白い層）の液面につけて、マイクロピペットで1－1.5ml（血球を含む）を回収

3. 分注

3-1. 検体番号のついたジャケットチューブに 各 500 μL分注。

IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio)

4. 保存

4-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温（-80℃）フリーザーで保存。

* バイオバンク試料調製手順 * [DNA] ~ 抽出

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- (2015年8月以降 1.0mL IDコード付きチューブ (Thermo 1.0mL #BC30680) に変更

2023年12月15日以降 1.0mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 1.0ml (FCR&Bio) に変更

2024年6月17日以降 0.55mL IDコード付きチューブ Jacket Tubes 0.55ml (FCR&Bio)に変更

2. 抽出

2-1. SARSTEDT社 SC Micro Tube PCR-PT 2.0mLに移し替え

2-2. 抽出機 (QIAGEN QIAAsmphony SP) にセットし抽出する。

2-3. 溶出液の濃度を測定する。(NanoDrop)

2-4. 溶出液をIDコード付きチューブ Jacket Tubes 0.55ml (FCR&Bio)に 各 80 μ L分注。

3. 保存

3-1. チューブは貯蔵ボックスに並べ、超低温 (-80℃) フリーザーで保存。